

I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	03 10 01 02	重点政策分類	生きがい	所管部課	教育部生涯学習課
事務事業名	スポーツ大会等開催事業			担当課長名	山根 一志
総合計画分類	C/D	名 称		作成者名	深田 千博
政策	03	教育・生涯学習		担当歴	平成 29 年度から
施策	10	スポーツ・レクリエーション活動の振興		電話(内線)	511
基本事業	01	身近で気軽にスポーツを楽しむことのできる場や機会の提供		事業年度	開始年度 終了(予定)年度
H29会計区分	1	一般会計		新規区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
款	10	教育費		経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 補助・単独区分 <input type="checkbox"/> 補助
項	6	保健体育費			<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> その他
目	1	体育振興費			<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
予算書上の事務事業名	おおたき国際スキーマラソン大会補助金、おおたき国際ノルディックウォーキング大会補助金			根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載

II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	市民全体及び国内・国外の愛好者等		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 市民と協働 (委託・交付先等:)						
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	市民のスポーツに対する意識の高揚と健康・体力づくり及び国際交流をとおして市民の融和と連携を深め、活力ある地域づくりを図る。								
	成果	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
	① おおたき国際スキーマラソン大会参加者数	人	770	707	619	494	500	500	
	② おおたき国際ノルディックウォーキング大会参加者数	人	375	446	340	322	361	438	
	③								
成果指標の考え方・計算根拠等	事業の熟度状況を把握するため、各事業の参加者数を指標とした。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	地域住民団体を中心に実行委員会を組織し、住民の意見を反映させながら進めている。また、誰にでも気軽なレクリエーションとして楽しめるよう種目の設定やコースの整備を行っている。								
	活動実績	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載									
	1 おおたき国際スキーマラソン大会	回	1	1	1	1	1	1	
	2 おおたき国際ノルディックウォーキング大会	回	1	1	1	1	1	1	
	3 各実行委員会実施回数	回	各2	各2	各2	各2	各2	各2	
活動指標の考え方・計算根拠等	事業の取り組み状況を把握するため、各事業の開催回数と実行委員会の実施回数を指標とした。								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	参加者が減少傾向にある。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組事項、設定した目標を具体的に記載								
	スキーマラソン大会及びノルディックウォーキング大会の普及活動の推進								
	上記の重点的取組事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
改善点	(平成29又は30年度)既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> その他	ノルディック協会により定期的な初心者講習会を継続実施しており、30年度ノルディックウォーキング大会では参加者を増やすことができた。						
	(平成30年度)改善を検討中(又は実施中)	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> その他	伊達地区の参加者増(特に高齢者で車のない方)に向けバス運行を実施した。						

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	03 10 01 02	重点政策分類	生きがい
事務事業名	スポーツ大会等開催事業		CD 02

所管部課	教育部生涯学習課
担当課長名	山根 一志
作成者名	深田 千博

Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
直接事業費 (A) 千円	5,300千円	6,300千円	5,300千円	4,839千円	5,080千円	5,300千円
国・道支出金 千円						
地方債 千円	5,000千円	6,000千円	5,000千円	4,500千円	4,700千円	5,000千円
その他特財 千円						
一般財源 千円	300千円	300千円	300千円	339千円	380千円	300千円
参考人件費 (B) 千円	2,212千円	2,287千円	2,376千円	2,410千円	2,452千円	2,508千円
一般職員 千円	438千円	466千円	464千円	459千円	454千円	467千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
嘱託職員 千円	1,774千円	1,821千円	1,913千円	1,952千円	1,998千円	2,042千円
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	1,671千円	1,674千円	1,704千円	1,734千円	1,759千円	1,810千円
投入人員 人						
投入経費 C=(A+B) 千円	7,512千円	8,587千円	7,676千円	7,249千円	7,532千円	7,808千円
人件費比率 D=(B/C) %	29.4%	26.6%	31.0%	33.2%	32.6%	32.1%

Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	目的妥当性 <input type="checkbox"/> 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称：) 市民のスポーツに対する意識の高揚と健康・体力づくりなどに資するものであり、また、地域資源を活用した事業としても妥当な事業である。
	有効性① 成果が出ているか？ <input checked="" type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	ノルディックウォーキングは運動効果の高いスポーツとして、認知度が高まってきている。また、大会参加者も増えた。
	有効性② 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい	健康志向の高まりとともに、講習会等普及活動の促進により、向上できる要素はある。また、増加した大会参加者数の維持に向けて取り組んでいく。
	効率性 妥当な経費で事業が執行されているか？または、成果を落とさずに投入経費を削減することはできるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input type="checkbox"/> 経費削減は難しい	印刷経費、会場費など事業内容を精査することで削減可能と考える。
	公平性 事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	市内外を問わず、誰でも参加が可能なイベントである。また、本市(大滝区)の地域資源、魅力発信にも寄与するものであり、地域振興という観点からも公平性は保たれているものとする。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
総合一次評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	旧大滝村時代から開催されてきた事業で、国際スキーマラソン大会は第28回、ノルディックウォーキングは第19回(H30.7.1実施済み)を迎えるまで継続されてきている。特にノルディックウォーキングは、健康志向の高まりもあり、年齢性別を問わず気軽に楽しみ、運動効果の高いスポーツとして認知度が高まっている。また、大滝区の地域特性を生かした事業であり、振興・活性化の面からも継続が必要である。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	両事業とも大滝村時代から続く、伝統ある事業であり、健康・体力づくりの促進のみならず大滝区の振興・活性化を図る観点からも継続支援をしていきたい。特に、ノルディックウォーキングはそれぞれの年齢や体力に応じて、手軽に体力維持や運動不足の解消を図ることができ、高齢者には介護予防にも繋がるため、普及に向けて取り組んでいきたい。

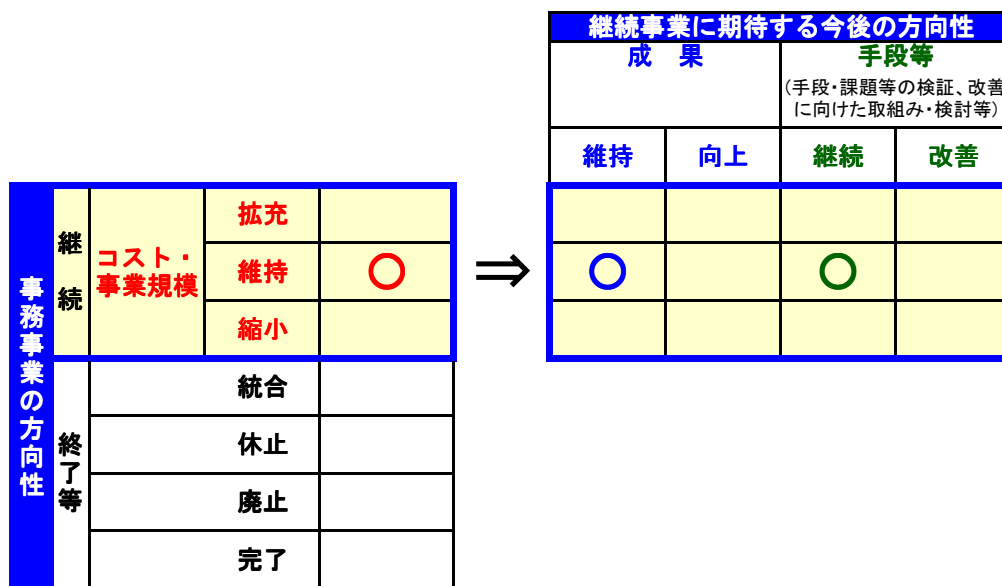
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業		総合計画統括CD		03	10	01	02	重点政策分類	生きがい	所管部課	教育部生涯学習課
事務事業名	スポーツ大会等開催事業							事業CD	02	担当課長名	山根 一志
										作成者名	深田 千博

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○	
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		△
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○
			大きく向上できる	△
	効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○	
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		△
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合にあって、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		△

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

伝統ある各種大会を通じて交流人口の増加と地域活性化につながるだけでなく、大滝区の魅力をPRできることから、今後も大滝の地域特性を生かした普及・支援活動を行うことを期待します。